

平成30年度

歯及び口腔の健康づくりに関する報告書

栃木県

歯及び口腔の健康づくりに関する報告について

栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例（平成 22 年栃木県条例第 50 号）第 10 条の規定により、歯及び口腔の健康づくりに関する報告書を提出します。

平成 30 (2018) 年 9 月 19 日

栃木県知事 福田 富一

目 次

I	はじめに	p. 1
II	県民の歯及び口腔の健康の状況	
	1 1歳6か月児	p. 1
	2 3歳児	p. 5
	3 園児・児童・生徒	p. 9
	4 成人・高齢者	p. 14
III	平成29年度歯科保健医療対策体系	p. 17
IV	平成29年度に講じた施策	
	1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	p. 18
	2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及	p. 22
	3 障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保	p. 22
	4 歯科保健医療提供体制の整備	p. 26
V	平成30(2018)年度に講じる施策	p. 30
VI	資料：県内市町におけるライフステージごとの取組（平成29年度）	p. 32
VII	資料：県内市町における歯科保健条例制定及び計画策定状況について	p. 33

I はじめに

この報告書は、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」（以下、「条例」という。）第10条の規定により、歯及び口腔の健康の状況並びに県が歯及び口腔の健康づくりの推進に関して平成29年度に講じた施策及び平成30(2018)年度に講じる施策について、県議会に報告し、県民に公表するものです。

II 県民の歯及び口腔の健康の状況

各ライフステージ（1歳6か月児・3歳児・園児・児童・生徒・成人・高齢者）の県民の歯や口腔の健康の状況については次のとおりです。

1 1歳6か月児の状況

市町が母子保健法（昭和40年法律第141号）第12条に基づき実施した満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

(1) 健康診査の受診状況

平成28年度における県内全域の対象者数は15,836人であり、うち健康診査の受診者数は15,506人でした。受診者のうち、むし歯がある1歳6か月児は212人でした（表1）。

表1 1歳6か月児健康診査受診状況（平成28年度）

地域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ない者 (人)	むし歯の ある者 (人)	むし歯 有病率 (%)	むし歯の 総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,848	4,755	98.1	4,690	65	1.37	177	0.37
県西地域	1,229	1,202	97.8	1,187	15	1.25	24	0.02
県東地域	1,122	1,111	99.0	1,091	20	1.80	54	0.05
県南地域	3,837	3,764	98.1	3,712	52	1.38	153	0.04
県北地域	2,945	2,889	98.1	2,858	31	1.07	111	0.04
安足地域	1,855	1,785	96.2	1,756	29	1.62	101	0.06
県合計	15,836	15,506	97.9	15,294	212	1.37	620	0.04

(厚生労働省「平成28年度 地域保健・健康増進事業報告」)

※ 地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

○安足地域：足利市、佐野市

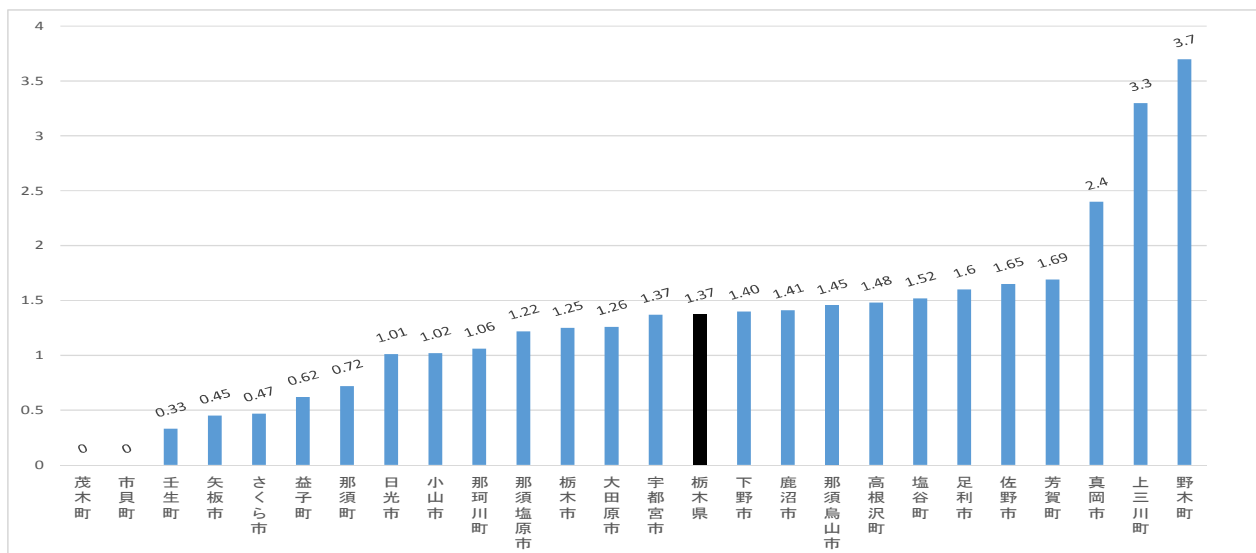
(2) むし歯有病率

平成 28 年度におけるむし歯有病率は県平均が 1.37%であり、最も高かったのは野木町で 3.70%、最も低かったのは茂木町、市貝町で 0%でした (図 1)。

本県の有病率は平成 24 年度までは全国平均を上回っていましたが、平成 25 年度以降は下回っています (図 3)。

図 1 県内における1歳6か月児のむし歯有病率 (平成 28 年度)

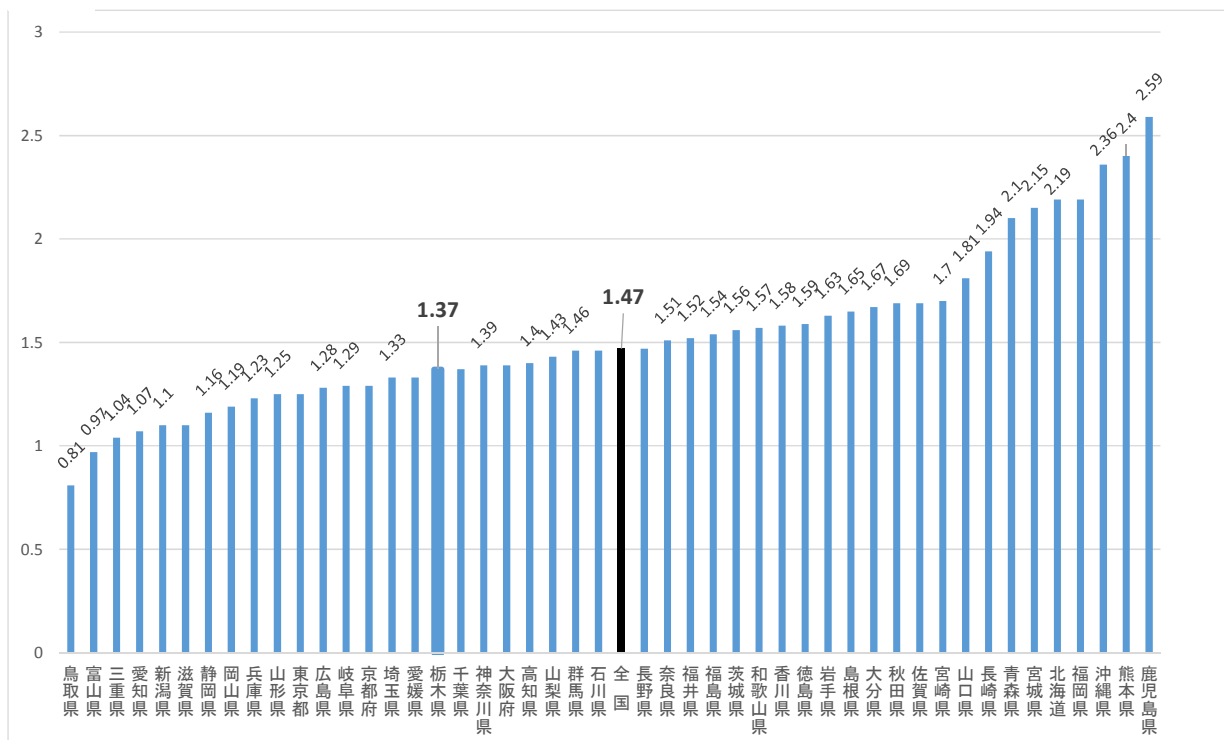
(%)



(厚生労働省「平成 28 年度 地域保健・健康増進事業報告」)

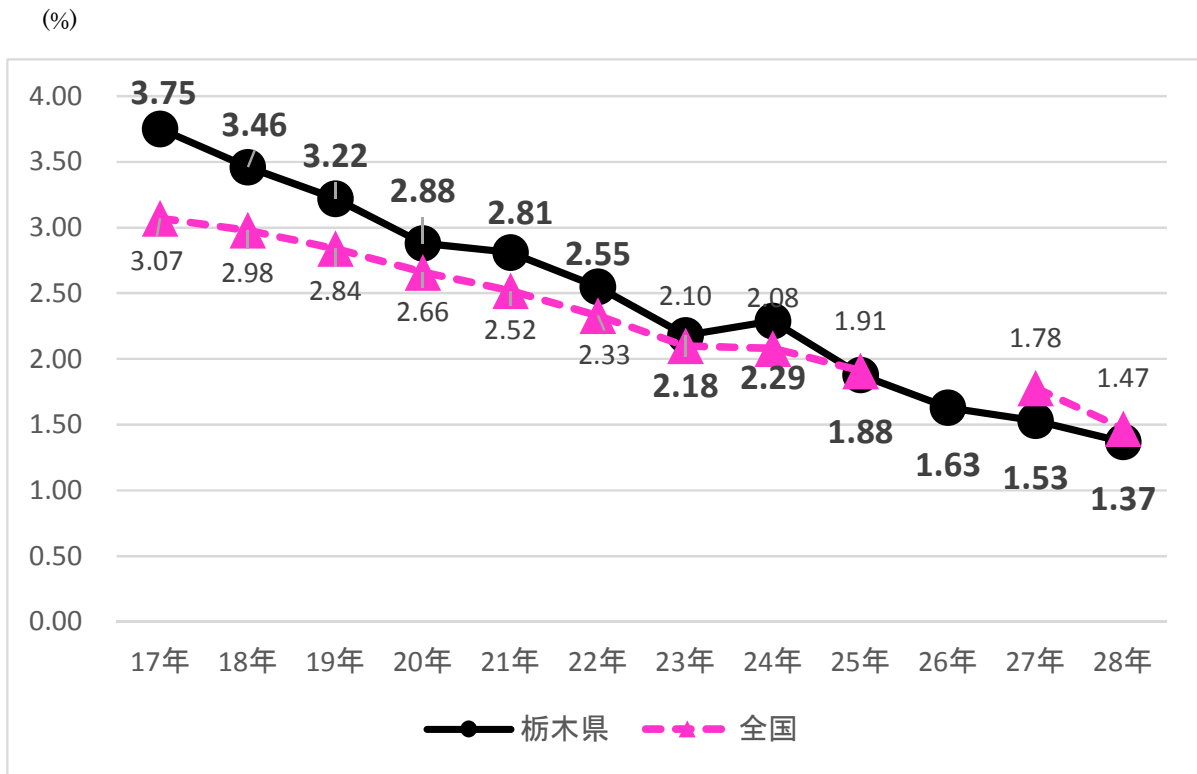
図 2 都道府県別 1 歳 6 か月児のむし歯有病率 (平成 28 年度)

(%)



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

図3 1歳6か月児におけるむし歯有病率の推移



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

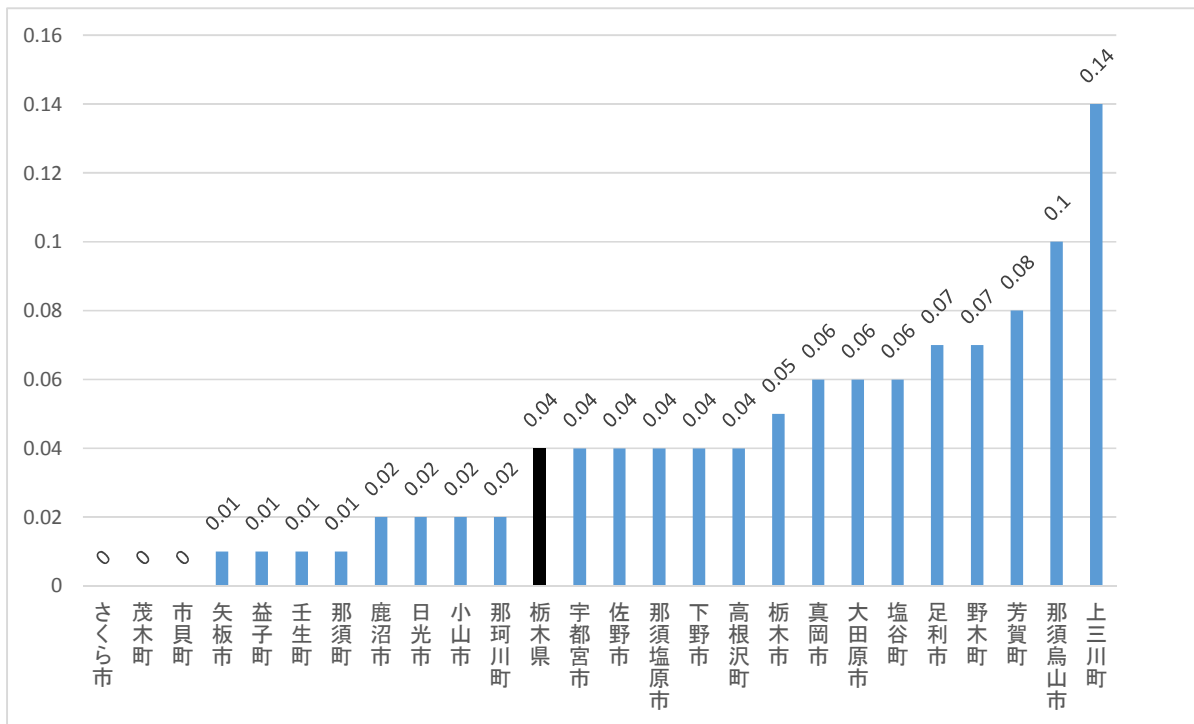
※平成26年は厚生労働省において未公表のため掲載していない。

(3) 一人平均むし歯数

平成28年度における一人平均むし歯数は県平均が0.04歯であり、最も多かったのは上三川町で0.14歯、最も少なかったのはさくら市、茂木町、市貝町で0歯でした(図4)。

図4 県内における1歳6か月児における一人平均むし歯数 (平成28年度)

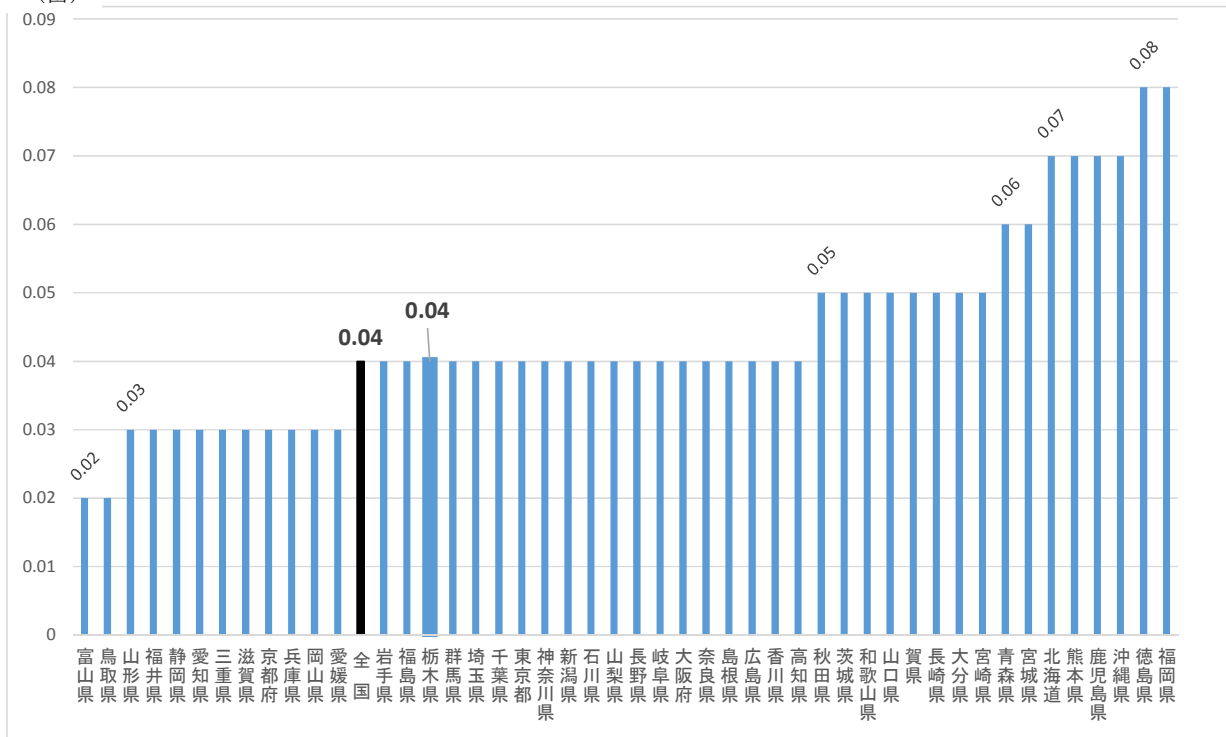
(歯)



(厚生労働省「平成28年度 地域保健・健康増進事業報告」)

図5 都道府県別1歳6か月児の一人平均むし歯数 (平成28年度)

(歯)



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

2 3歳児の状況

市町が母子保健法第12条に基づき実施した満3歳を超え満4歳に達しない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

(1) 健康診査の受診状況

平成28年度における県内全域の対象者数は16,020人であり、うち健康診査の受診者数は15,389人でした。受診者のうち、むし歯がある3歳児は2,354人でした(表2)。

表2 3歳児健康診査受診状況(平成28年度)

地域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ない者 (人)	むし歯の ある者 (人)	むし歯 有病率 (%)	むし歯の 総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,747	4,504	94.9	3,963	555	12.32	1,922	0.43
県西地域	1,197	1,148	95.9	1,033	193	16.81	661	0.58
県東地域	1,147	1,135	99.0	1,039	176	15.51	575	0.51
県南地域	4,008	3,873	96.6	3,208	578	14.92	2,023	0.52
県北地域	2,976	2,867	96.3	2,172	504	17.58	1,627	0.57
安足地域	1,945	1,862	95.7	1,565	348	18.69	1,282	0.69
県合計	16,020	15,389	96.1	12,980	2,354	15.30	8,090	0.53

(厚生労働省「平成28年度 地域保健・健康増進事業報告」)

※ 地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

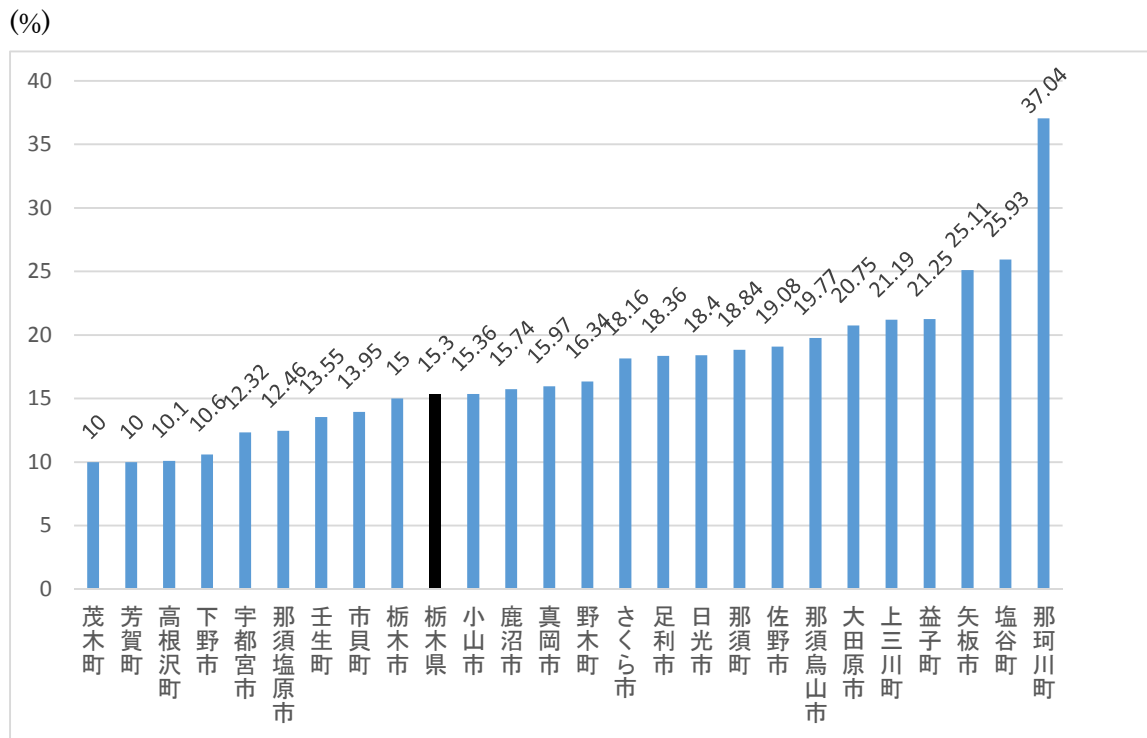
○安足地域：足利市、佐野市

(2) むし歯有病率

平成 28 年度におけるむし歯有病率は県平均が 15.3%であり、最も高かったのは那珂川町で 37.04%、最も低かったのは茂木町、芳賀町で 10.0%でした（図 6）。

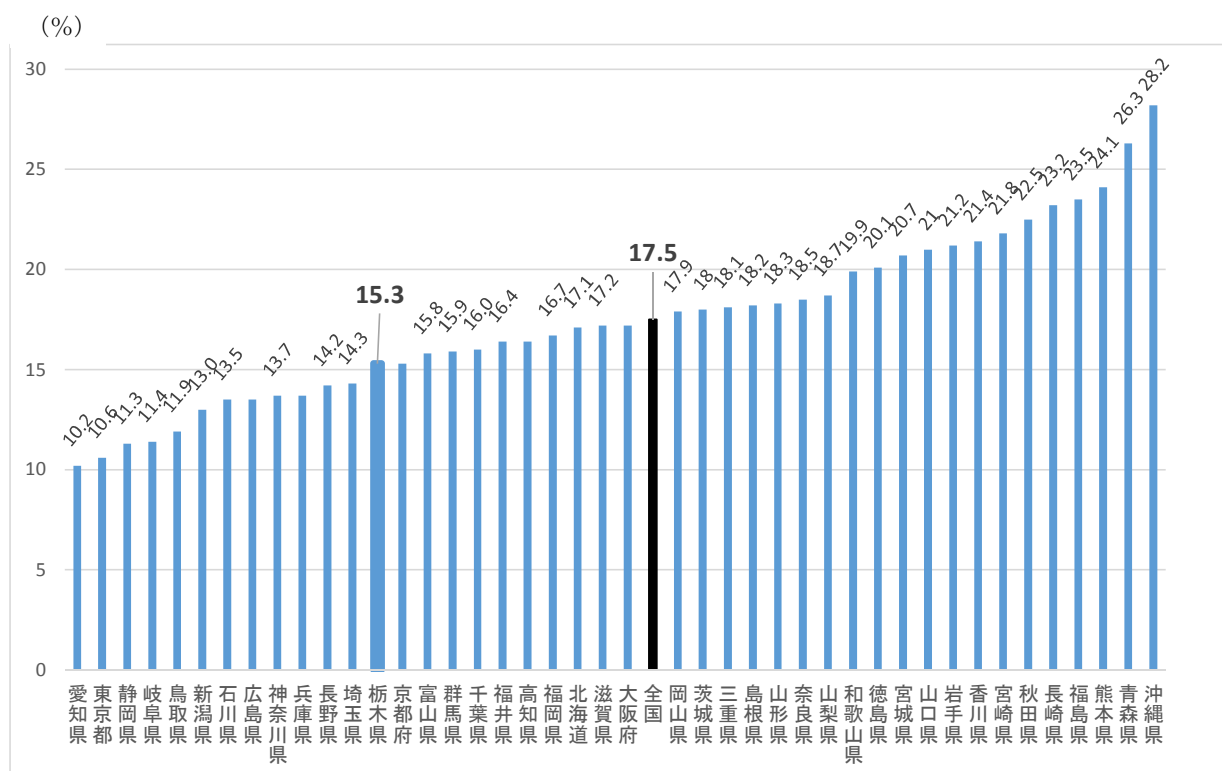
本県の有病率は年々減少しており、全国平均よりも良い状態が続いています（図 8）。

図 6 県内における 3 歳児のむし歯有病率（平成 28 年度）



(厚生労働省「平成 28 年度 地域保健・健康増進事業報告」)

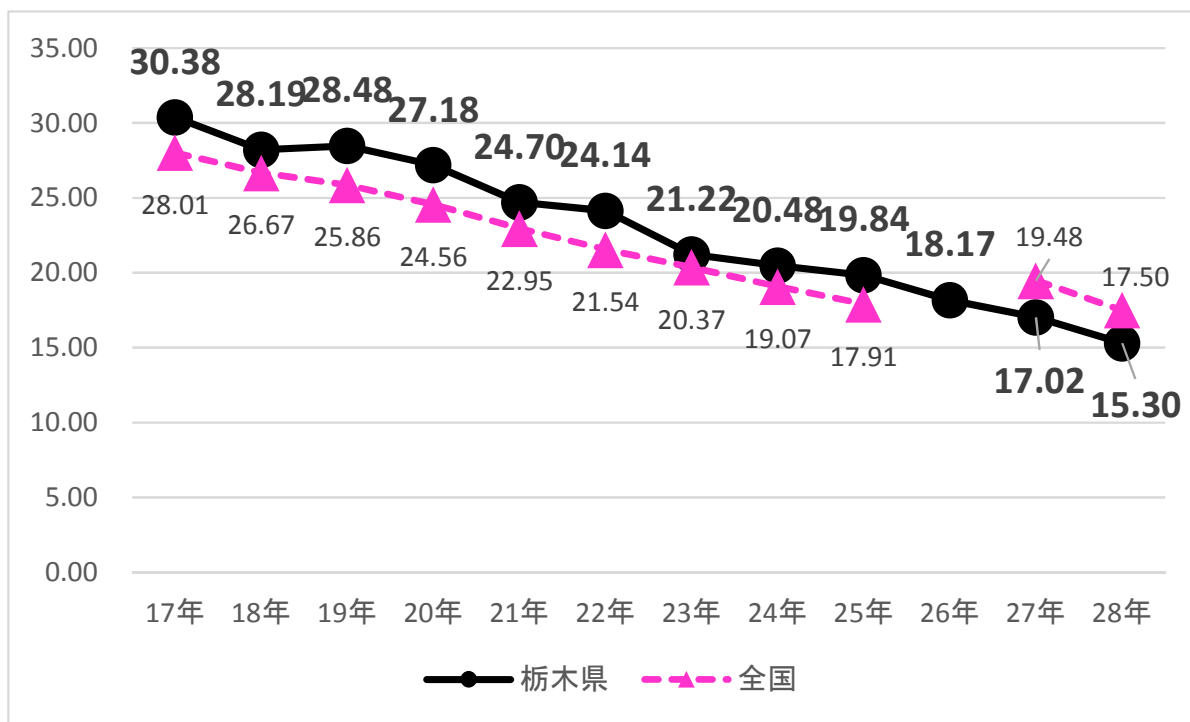
図 7 都道府県別 3 歳児のむし歯有病率（平成 28 年度）



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

図8 3歳児におけるむし歯有病率の推移

(%)



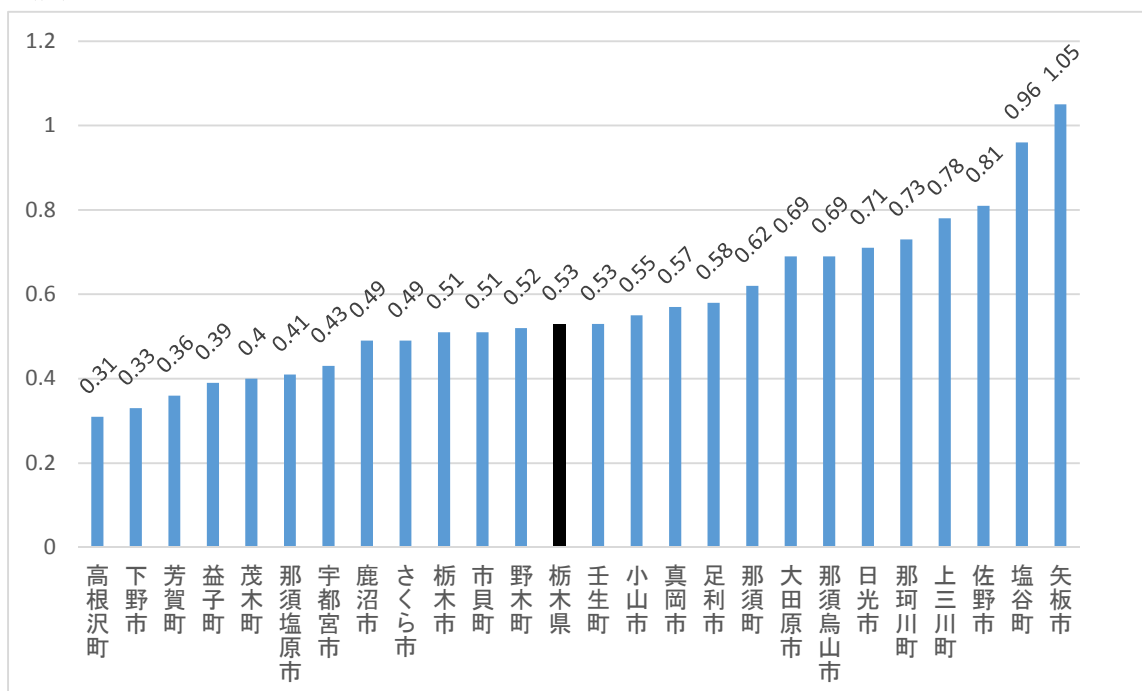
※平成26年は厚生労働省において未公表のため掲載していない。(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

(3) 一人平均むし歯数

平成28年度における一人平均むし歯数は県平均が0.53歯であり、最も多かったのは矢板市で1.05歯、最も少なかったのは高根沢町で0.31歯でした(図9)。

図9 県内における3歳児の一人平均むし歯数 (平成28年度)

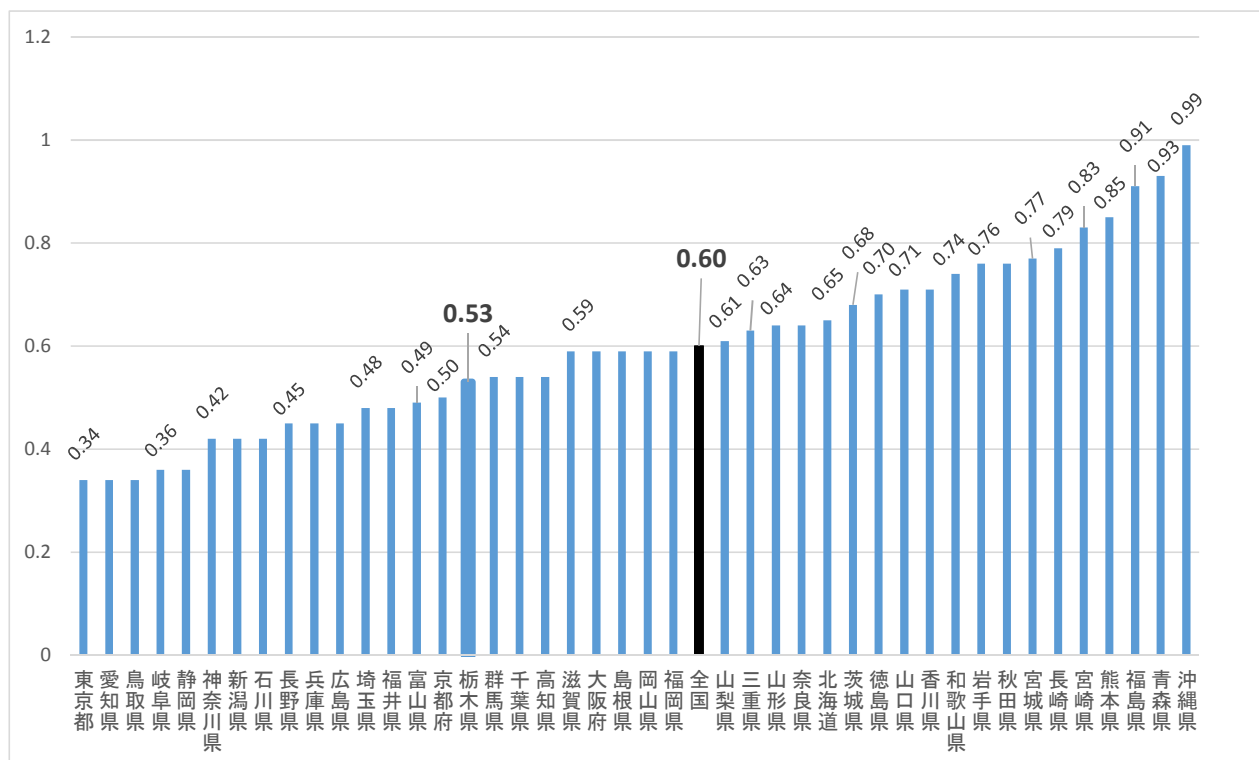
(歯)



(厚生労働省「平成28年度 地域保健・健康増進事業報告」)

図 10 都道府県別 3歳児の一人平均むし歯数 (平成 28 年度)

(歯)



(厚生労働省「平成 28 年度 地域保健・健康増進事業報告」)

3 園児・児童・生徒

園児（翌学年の初めから学校に入学予定の園児）については学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 11 条に基づき市町の教育委員会が、また、児童・生徒については同法第 13 条第 1 項に基づき各学校長が実施した健康診断の結果は次のとおりです。

(1) むし歯有病率(※)の推移

ア 園児（幼稚園児）

幼稚園（5 歳児）におけるむし歯有病率については、平成 29 年度は 43.7%であり、過去 10 年間を通して減少傾向が続いています。

※文部科学省の学校保健統計調査では「被患率」と表記しているが、本書では同義の「有病率」を使用している。

※本県の平成 26 年度は、調査対象が僅少で統計値として適当な数値が得られなかった等の理由で公表されていない。

表 3 幼稚園（5 歳児）におけるむし歯有病率の推移

(単位：%)

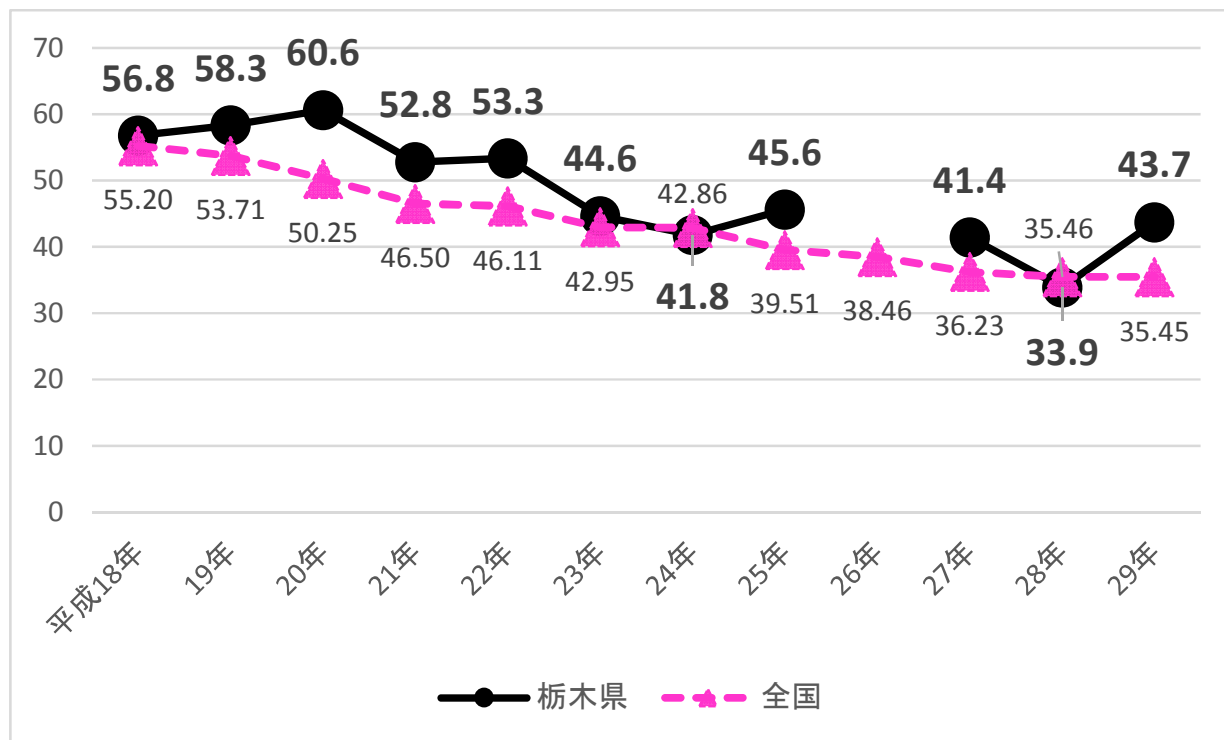
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
幼稚園	むし歯	合計	60.6	52.8	53.3	44.6	41.8	45.6	X	41.4	33.9	43.7
		処置完了者	24.7	20.7	17.7	16.2	16.1	18.2	X	15.7	10.1	13.8
		未処置歯のある者	35.9	32.2	35.6	28.3	25.8	27.4	X	25.6	23.9	29.9

(注) 四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

[出典: 文部科学省「学校保健統計調査」]

図 11 幼稚園(5 歳児)におけるむし歯の有病率の推移

(%)



イ 小学生

小学生のむし歯有病率については、平成 22 年度から平成 25 年度までは約 60%と横ばいで推移していましたが、平成 29 年度は 54.3%まで減少しました（表 4）。

平成 29 年度の全国平均は 47.0%であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。（図 12）。

表 4 小学生におけるむし歯有病率の推移

（単位：％）

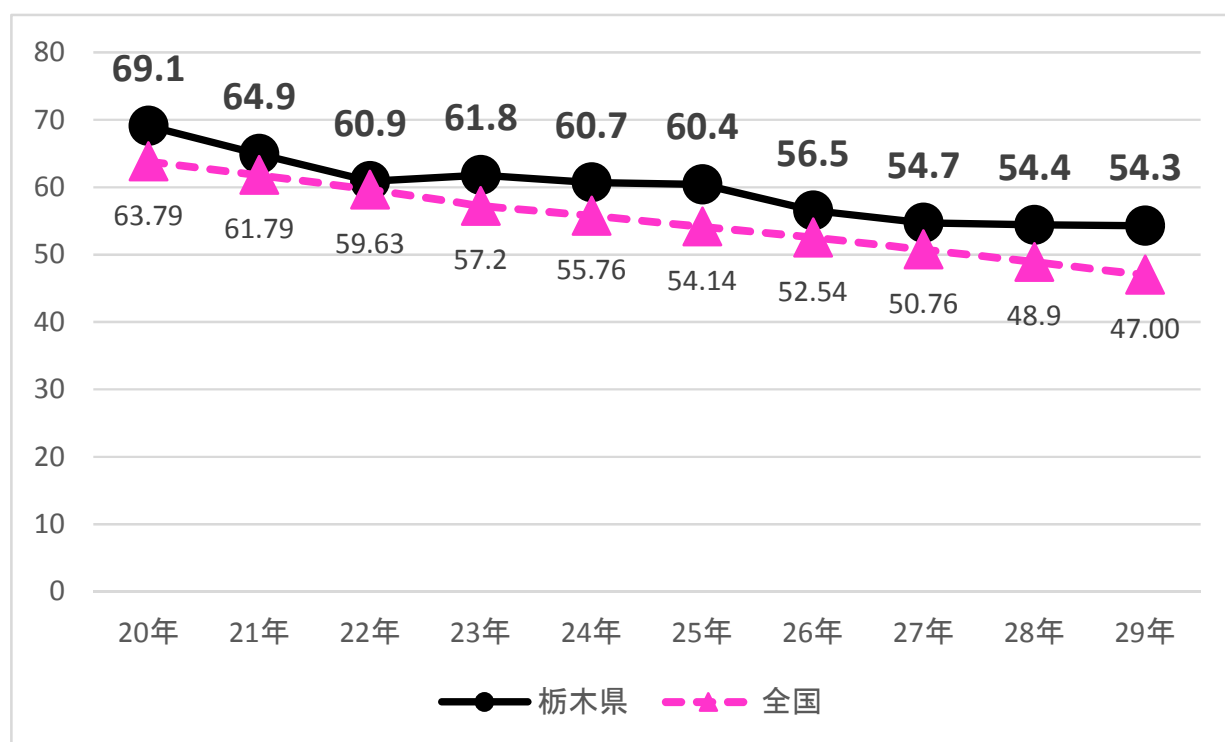
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
小学生	むし歯	合計	69.1	64.9	60.9	61.8	60.7	60.4	56.5	54.7	54.4	54.3
		処置完了者	31.5	29.0	26.7	28.7	26.0	27.1	26.6	24.2	25.6	24.5
		未処置歯のある者	37.6	35.9	34.2	33.1	34.7	33.3	29.9	30.5	28.8	29.8

（注）四捨五入の関係により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図 12 小学生におけるむし歯の有病率の推移

（％）



ウ 中学生

中学生のむし歯有病率については、年度によって変動はあるものの減少傾向が続いており、平成 29 年度は 42.9%でした（表 5）。

平成 29 年度の全国平均は 37.3%であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。（図 13）。

表 5 中学生におけるむし歯有病率の推移

（単位：％）

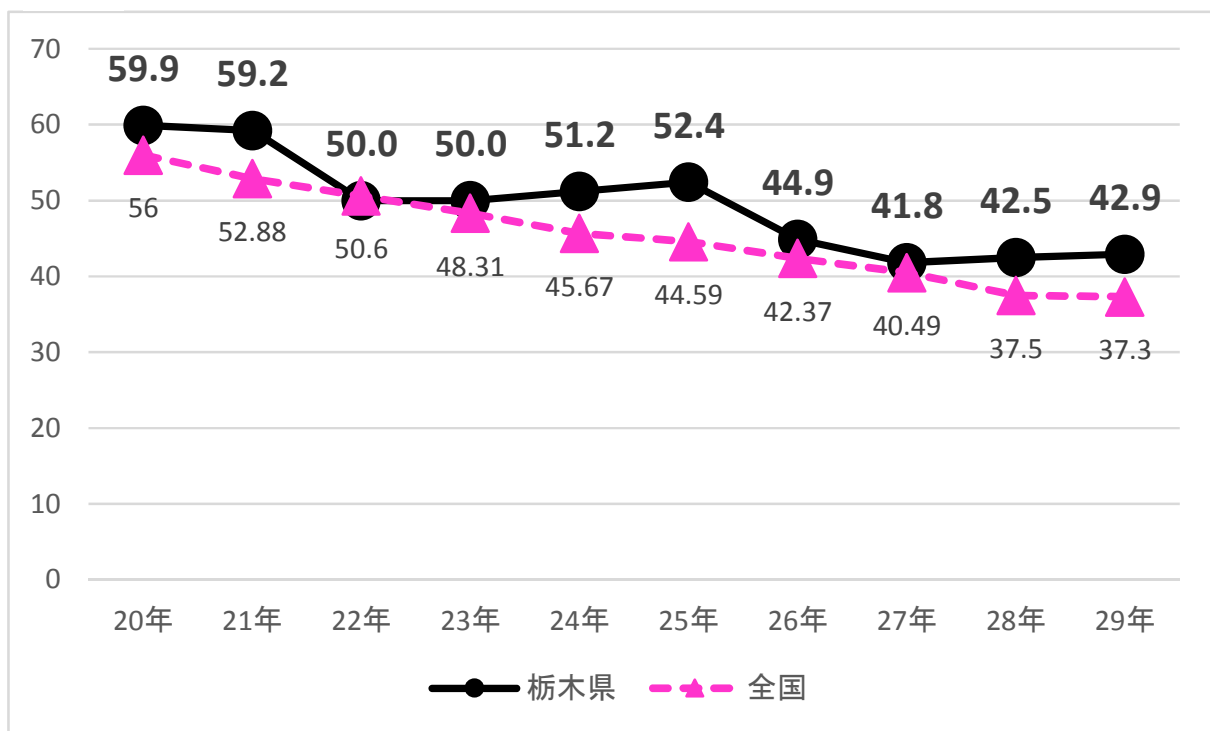
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
中学生	むし歯	合 計	59.9	59.2	50.0	50.0	51.2	52.4	44.9	41.8	42.5	42.9
		処置完了者	33.5	34.4	29.6	28.3	30.3	28.4	25.3	24.9	24.6	24.2
		未処置歯のある者	26.4	24.8	20.4	21.7	20.8	24.0	19.6	16.9	17.8	18.7

（注）四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図 13 中学生におけるむし歯の有病率の推移

（％）



工 高校生

高校生のむし歯有病率については、減少傾向が続いており、平成 28 年度は 44.9%でした（表 6）。平成 29 年度の全国平均は 47.4%であり、本県の有病率は全国平均より低くなっています。（図 14）。

表 6 高校生におけるむし歯有病率の推移

（単位：％）

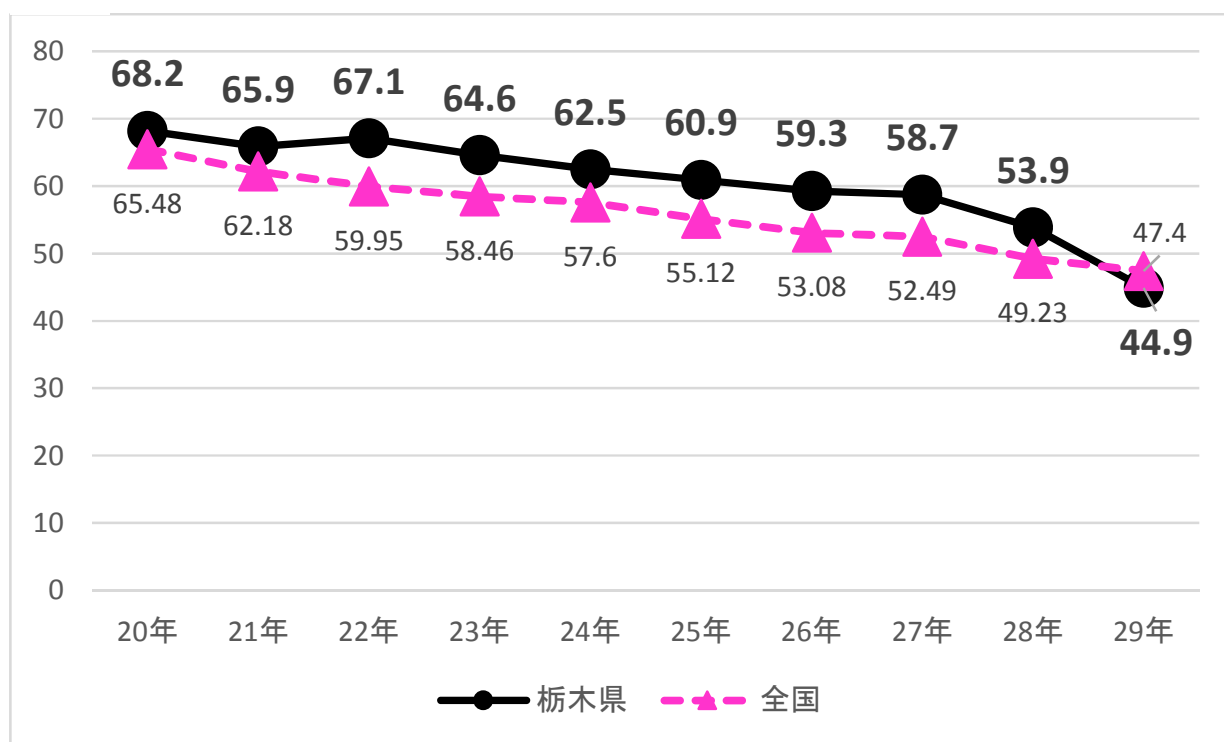
			H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
高校生	むし歯	合計	68.2	65.9	67.1	64.6	62.5	60.9	59.3	58.7	53.9	44.9
		処置完了者	41.9	37.4	39.6	36.5	35.5	32.9	36.8	33.9	30.6	26.8
		未処置歯のある者	26.4	28.5	27.5	28.1	27.2	28.0	22.6	24.9	23.2	18.1

（注）四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図 14 高校生におけるむし歯の有病率の推移

（％）



(2) 12歳の永久歯の一人平均むし歯等数

12歳の一人平均むし歯等数は、永久歯が生えそろった直後の指数となるため、国際的な判断基準（WHO：世界保健機構）となっています。

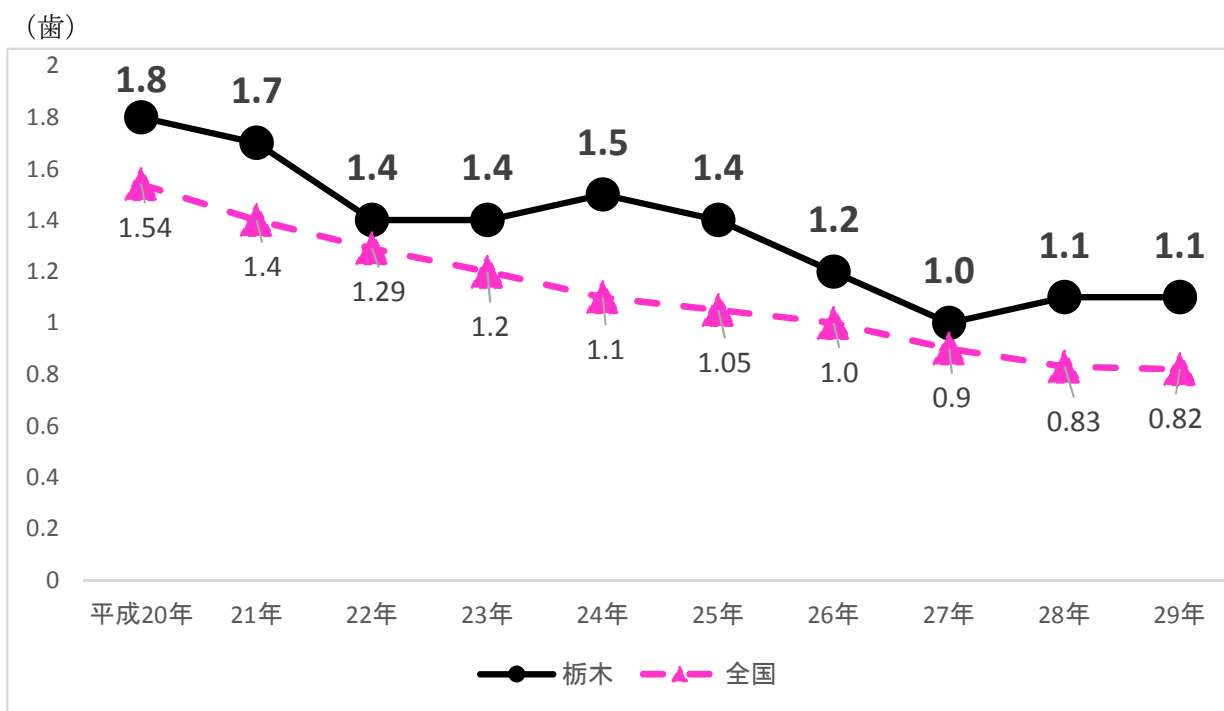
12歳の永久歯の一人平均むし歯数については、平成27年度には1.0歯まで減少しましたが、平成28、29年度は1.1歯と横ばいで、「栃木県歯科保健基本計画」の目標値である「1.0歯以下」を達成できませんでした。全国平均は0.82歯でした（表7、図15）。

表7 12歳の永久歯の一人平均むし歯数及び喪失歯数（平成29年度）
（単位：歯）

区分	計	喪失歯数	むし歯（う歯）		
			計	処置歯数	未処置歯数
計	1.1	0.0	1.1	0.7	0.4
男	1.0	0.0	1.0	0.6	0.4
女	1.2	0.0	1.2	0.8	0.4

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図15 12歳における永久歯の一人平均むし歯等数の推移



4 成人・高齢者

(1) 歯周病検診実施状況

市町が健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）に基づき実施した 40 歳、50 歳、60 歳及び 70 歳の住民を対象とした歯周病検診の結果は次のとおりです。

ア 実施状況

平成 29 年度、歯周病検診を実施した市町は全市町で実施されました。受診者数は 5,671 人で、実施市町の対象人口 83,608 人で受診率は 6.8% でした（平成 28 年度受診率は 6.2%）。

イ 平成 29 年度各市町実施状況一覧（表 8）

※ 日光市は「日光市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき実施しており、判定基準が異なるため、受診率の算出からは除外しました。

（単位：人）

市町村名	40歳					検査結果			50歳					検査結果		
	対象者数	受診者数			受診率	要 精 検 査	要 指 導 者	異 常 認 め ず	対象者数	受診者数			受診率	要 精 検 査	要 指 導 者	異 常 認 め ず
		男	女	男						女						
宇都宮市	2,352	378	115	263	16.1%	260	76	42	1,616	210	28	182	13.0%	140	42	28
鹿沼市	1,298	53	19	34	4.1%	35	11	7	1,406	92	39	53	6.5%	64	22	6
※日光市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
真岡市	1,183	127	60	67	10.7%	116	4	7	1,052	115	42	73	10.9%	107	4	4
益子町	308	16	10	6	5.2%	11	3	2	300	16	3	13	5.3%	12	2	2
茂木町	140	2	1	1	1.4%	0	2	0	128	7	3	4	5.5%	4	2	1
市貝町	131	2	1	1	1.5%	1	1	0	158	2	0	2	1.3%	2	0	0
芳賀町	182	4	1	3	2.2%	3	1	0	215	6	2	4	2.8%	5	1	0
栃木市	2,160	137	44	93	6.3%	105	23	9	2,211	135	34	101	6.1%	112	15	8
小山市	615	56	16	40	9.1%	25	23	8	463	45	7	38	9.7%	25	14	6
下野市	820	25	15	10	3.0%	16	0	2	848	36	1	35	4.2%	20	12	4
上三川町	384	13	5	8	3.4%	8	2	3	455	13	4	9	2.9%	8	2	3
壬生町	566	36	12	24	6.4%	28	6	2	524	33	10	23	6.3%	22	5	6
野木町	331	8	4	4	2.4%	5	1	2	249	3	1	2	1.2%	3	0	0
大田原市	995	47	13	34	4.7%	26	6	15	880	30	10	20	3.4%	21	3	6
矢板市	461	5	3	2	1.1%	3	2	0	420	7	2	5	1.7%	4	3	0
那須塩原市	1,664	115	36	79	6.9%	46	50	19	1,539	80	35	45	5.2%	45	24	11
さくら市	679	68	26	42	10.0%	32	35	1	548	29	9	20	5.3%	8	19	2
那須烏山市	342	1	0	1	0.3%	1	0	0	308	4	1	3	1.3%	0	2	2
塩谷町	102	0	0	0	0.0%	0	0	0	146	1	0	1	0.7%	0	0	1
高根沢町	390	11	6	5	2.8%	2	9	0	367	11	2	9	3.0%	2	6	3
那須町	275	18	6	12	6.5%	14	3	1	262	16	6	10	6.1%	16	0	0
那珂川町	193	9	4	5	4.7%	7	0	2	173	7	3	4	4.0%	6	0	1
足利市	1,901	11	3	8	0.6%	4	2	5	2,279	21	6	15	0.9%	13	7	1
佐野市	1,519	23	6	17	1.5%	15	8	0	1,378	20	1	19	1.5%	14	5	1
計	18,991	1,165	406	759	6.1%	763	268	127	17,925	939	249	690	5.2%	653	190	96

市町村名	60歳				検査結果			70歳				検査結果				
	対象者数	受診者数		受診率	要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	対象者数	受診者数		受診率	要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず		
		男	女						男	女						
宇都宮市	2,992	172	34	138	5.7%	139	23	10	4,501	565	232	333	12.6%	409	97	59
鹿沼市	1,252	105	33	72	8.4%	65	31	9	1,802	200	101	99	11.1%	149	33	18
※日光市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
真岡市	1,025	116	41	75	11.3%	105	2	9	1,296	246	97	149	19%	220	8	18
益子町	379	39	23	16	10.3%	23	9	7	462	53	25	28	11.5%	33	8	12
茂木町	216	17	7	10	7.9%	11	3	3	312	4	1	3	1.3%	2	1	1
市貝町	190	3	0	3	1.6%	2	1	0	205	11	3	8	5.4%	4	5	1
芳賀町	194	8	1	7	4.1%	6	2	0	302	12	2	10	4.0%	5	6	1
栃木市	2,081	198	57	141	9.5%	167	26	5	2,990	340	129	211	11.4%	306	20	14
小山市	1,025	55	14	41	5.4%	40	8	7	1,447	235	110	125	16.2%	150	59	26
下野市	778	16	5	11	2.1%	8	7	1	837	13	4	9	1.6%	11	1	1
上三川町	411	18	5	13	4.4%	15	3	0	433	19	9	10	4.4%	5	9	5
壬生町	502	45	18	27	9.0%	27	9	9	694	78	33	45	11.2%	52	15	11
野木町	374	11	2	9	2.9%	7	0	4	370	24	12	12	6.5%	23	1	0
大田原市	958	39	15	24	4.1%	34	2	3	1,251	87	41	46	7.0%	73	2	12
矢板市	459	4	3	1	0.9%	2	1	1	633	15	7	8	2.4%	4	10	1
那須塩原市	1,507	105	39	66	7.0%	39	39	16	1,982	251	96	155	12.7%	114	94	43
さくら市	512	55	20	35	10.7%	26	20	3	693	58	24	34	8.4%	34	21	3
那須烏山市	429	20	5	15	4.7%	8	8	4	402	6	1	5	1.5%	2	3	1
塩谷町	180	1	1	0	0.6%	1	0	0	222	2	1	1	0.9%	2	0	0
高根沢町	384	21	8	13	5.5%	12	9	0	312	13	5	8	4.2%	6	6	1
那須町	434	31	11	20	7.1%	24	3	3	450	44	30	14	9.8%	39	4	1
那珂川町	319	19	4	15	6.0%	19	0	0	369	25	12	13	6.8%	18	2	5
足利市	1,817	18	7	11	1.0%	11	5	2	3,206	65	31	34	2.0%	48	8	9
佐野市	1,459	41	12	29	2.8%	28	8	3	1,644	44	16	28	2.7%	39	3	2
計	19,877	1,157	365	792	5.8%	819	219	99	26,815	2,410	1,022	1,388	9.0%	1,748	416	245

(2) 6024 及び 8020 達成者

平成 28 年度県民健康・栄養調査の速報値では、60 歳で 24 歯以上自分の歯を有する者（6024 達成者）の割合は 52.2%、80 歳で 20 歯以上自分の歯を有する者（8020 達成者）は 34.8%となっています。前回調査（平成 21 年度）と比べて、6024 達成者はほとんど変わらず、8020 達成者は 10.9%増加しました（表 9）。

表 9 60 歳で 24 歯以上、80 歳で 20 歯以上の歯を有する者の割合

(単位：%)

	60 歳(55-64 歳)で 24 歯以上			80 歳(75-84 歳)で 20 歯以上		
	H15	H21	H28	H15	H21	H28
達成率	42.1	52.7	52.2	18.85	23.9	34.8

※ 栃木県保健福祉部健康増進課「平成 28 年度県民健康・栄養調査」

(3) 在宅歯科医療の推進

在宅等の療養に関して歯科医療面から支援できる体制等を確保し、訪問歯科診療を行う歯科診療所を「在宅療養支援歯科診療所」といいます。国が定める施設基準を満たし、届出を行っている診療所の数は年々増加しています。

年 度	H26 (2014)	H29 (2017)	目標値 (2022)
在宅療養支援歯科診療所の施設数	32 施設	58 施設	80 施設

Ⅲ 平成 29 年度歯科保健医療対策体系

歯及び口腔の健康づくりを推進するため、県、市町等が実施した事業は次のとおりです。

区分 (栃木県歯科保健基本計画 施策体系毎)	事業名	IV (参 照) 講 じた 施 策	ライフステージ等					実施主体			
			乳 幼 児	学 小 学 ・ 高 校 ・ 生 中	成 人	高 齢 者	介 護 者 ・ 障 害 者 要	県	教 育 委 員 会	市 町	関 係 機 関
1 歯や口腔 と関係する病 気等の予防の 推進	栃木県口腔保健支援センター事業	1-(1)									
	県政出前講座	①	○	○	○	○		○			
	各種広報媒体を活用した広報活動	②	○	○	○	○		○			○
	要介護高齢者・障害者の歯科保健医療に関する実態調査	③				○	○	○			○
	市町の歯科保健事業への支援 (フッ化物洗口実施支援事業、成人歯科健診事業)	④		○	○			○		○	○
	各種表彰制度による歯科保健活動の推進	1-(2)									
	栃木県歯科保健賞	①	○	○	○	○		○	○		○
	よい歯のコンクール(親と子・三歳児)	②	○					○		○	○
	よい歯の優良学校コンクール	③		○				○	○		○
	よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール	④		○				○	○		○
	とちぎ歯の健康センター事業	1-(3)									
	健康相談	①	○	○	○	○		○			○
	普及啓発	②	○	○	○	○		○			○
	フッ化物洗口実施に係る技術的支援	③		○				○			
歯と口の健康週間事業	④	○	○	○	○		○		○	○	
2 歯や口腔 の健康に関す る啓発と検診 の普及	へき地巡回歯科診療	2-(1)	○	○	○	○		○			○
	永久歯等対策事業(保育所・幼稚園・障害児通所施設等)	2-(2)	○				○	○			○
	妊産婦歯科健康診査、相談指導		○		○					○	
	乳幼児の歯科保健に関する相談指導		○							○	
	1歳6か月児歯科健康診査、相談指導		○							○	
	2歳児歯科健康診査、相談指導		○							○	
	3歳児歯科健康診査、相談指導		○							○	
	学校歯科検診等			○					○		○
	歯周病検診(40・50・60・70歳) ※健康増進法に基づく事業					○	○			○	
	歯周病検診 ※健康増進事業外					○				○	
	歯科健康相談、健康教室(65歳未満の成人)					○				○	
口腔機能の維持向上に関する事業(介護予防事業等)						○			○		
歯科疾患実態調査(5年毎)		○	○	○	○		○			○	
3 障害児者・ 要介護者への 歯科保健医療 サービスの確 保	障害者歯科診療事業	3-(1)					○	○			○
	障害者歯科医療システムの運用	3-(2)					○	○			○
	障害者高次歯科医療提供体制整備事業	3-(2)					○	○			○
	永久歯等対策事業(再掲)		○				○	○			○
	福祉施設巡回歯科相談・指導事業	3-(3)					○	○			○
	在宅歯科診療連携推進事業	3-(4)					○	○			○
	在宅歯科医療従事者研修事業	3-(4)					○	○			○
	多職種連携による栄養指導・口腔機能向上事業	3-(5)				○	○	○			○
4 歯科保健 医療提供体制 の整備	歯科衛生士再就職支援事業	4-(1)						○			○
	歯科保健指導者・医療従事者研修事業	4-(2)	○	○	○	○	○	○			○
	医科歯科連携推進事業 ※	4-(3)	○	○	○	○	○	○			○
	とちぎ歯の健康センター整備事業 ※	4-(4)					○	○			
	歯科保健推進協力交付金	4-(5)	○	○	○	○	○	○			
	栃木県歯科保健推進協議会	4-(6)	○	○	○	○	○	○			
	8020運動推進協議会	4-(6)				○	○	○			
	とちぎ歯の健康センター運営等協議会	4-(6)	○	○	○	○	○	○			

※ H29新規事業

IV 平成 29 年度に講じた施策

1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進

歯や口腔の病気の予防は、全身の健康づくりや疾病等の予防の観点からも重要であることから、歯や口腔の病気の予防等の各施策を適正かつ効果的に進めていくため、調査研究や成果の普及、情報収集や提供に関する事業を実施しました。

(1) 栃木県口腔保健支援センター事業

県民の口腔機能の維持向上を目指して、平成 28 年 4 月、健康増進課内に「栃木県口腔保健支援センター」を開設し、市町や関係機関等と連携しながら歯科保健対策の企画立案や助言指導などを行っています。

〔人員体制〕 ・センター長：健康増進課長

・センター職員：歯科医師（1名）、歯科衛生士（1名）

① 県政出前講座

県民からの要望に応じて、県政出前講座を行いました。

実施時期	対象施設・団体等	参加者数
6 月	高齢者入所施設（宇都宮市）	介護職員 15 名
11 月	中学校（日光市）	生徒・教員 53 名
2 月	農業協同組合（小山市）	組合員 30 名

② 各種広報媒体を活用した広報活動

テレビやラジオ等の広報媒体を活用し、広く県民に普及啓発を行いました。

実施時期	媒体等	番組テーマ・広報紙配布先
6 月	・とちぎテレビ／県政ひとくちメモ ・CRT栃木放送／県政ナビ	歯と口腔の健康づくり
3 月	・お口の健康ガイド(妊産婦・乳幼児健診等で配布) ・フッ化物応用に関する啓発リーフレット 各1万部	市町及び小学校に配布

③ 要介護高齢者・障害者の歯科保健医療に関する実態調査

ア アンケートの実施

「栃木県歯科保健基本計画(2期計画)」の策定に合わせ、平成 29 年 9 月に、在宅又は施設に入所している要介護高齢者及び障害者の口腔衛生管理の状況について調査を行いました。

〔対象〕 特別養護老人ホーム(129)、老人保健施設(64)、認知症高齢者グループホーム(174)、地域密着型特別養護老人ホーム(71)、障害児入所施設(9)、障害者支援施設(44)、居宅介護支援事業所(280)、相談支援事業所(177) ※()内は施設数

イ 実地調査の実施

施設における取組や入所者の生活状況及び課題などを把握するため、老人保健施設と障害者支援施設の各1施設をセンター職員が訪問し、聴き取り調査を行いました。

④ 市町の歯科保健事業への支援

ア フッ化物洗口支援事業

小学校で、フッ化物洗口を実施する市町に対して、事業費の助成を行いました。

市町名	小学校数	実施人数
大田原市	21 校	3,620 人
高根沢町	6 校	1,466 人
佐野市	26 校	5,649 人
那須塩原市	21 校	6,109 人
那須町	7 校	952 人
5 市町	81 校	17,796 人

(参考) 平成 28 年度： 2 市町、27 校、5,104 人

イ 成人歯科健診事業

40 歳未満の成人を対象とした歯科健診を行う市町に対して、事業費の助成を行いました。市においては、がん検診や特定健診と同時に実施したり、女性健診日を設けたりするなど、住民が受診しやすいよう配慮しました。

市町名：鹿沼市、受診者数：558 人

区 分	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	1 月	計
40 歳未満健診	66 人	70 人		45 人	61 人		242 人
レディース健診		121 人				101 人	222 人
歯と口のいきいき健診	32 人		29 人		33 人		94 人

(参考) 平成 28 年度受診者数：646 人

(2) 各種表彰制度による歯科保健活動の推進

歯科保健活動の優良事例を表彰することにより、さらなる歯科保健活動を推進しました。

① 栃木県歯科保健賞

栃木県歯科保健賞は、昭和 52 年に栃木県歯科医師会が第 29 回保健文化賞を受賞したことを記念して創設されたものです。県内における歯科保健衛生の分野で、優れた業績を挙げた団体及び個人の功績に対して、顕彰を行いました。

団体の部	栃木県歯科衛生士会 小山支部
団体の部	足利市立桜小学校

② 親と子のよい歯のコンクール・三歳児よい歯のコンクール

親と子の口腔衛生の向上及び普及啓発を図るため、3 歳児健診を受診した幼児及びその親を対象に、コンクールを実施しました。

審査結果

コンクール名	審 査				審査結果（第3次）		
	第1次	第2次	第3次	中 央	最優秀	優 秀	優 良
親と子	48組	34組	12組	1組	1組	3組	6組
三歳児	313人	110人	12人		1人	3人	7人

（参考）平成28年度応募者数：親と子 63組、三歳児 330人

③ よい歯の優良学校コンクール

児童生徒の歯科保健の向上発展を図るため、栃木県教育委員会・栃木県歯科医師会との三者共催でコンクールを行い、定期健診の結果（むし歯数・処置歯率等）や学校歯科保健活動の状況などを総合的に審査し、優良学校を表彰しました。

審査結果

区分	参加校	栃木県 知事賞	栃木県議会 議長賞	栃木県 教育長賞	栃木県医師 会長賞	栃木県歯科 医師会長賞	入選
小学校	195校	1校	2校	3校	3校	9校	50校
中学校	75校	1校	2校	3校	3校	9校	20校

（参考）平成28年度参加数：小学校 196校、中学校 77校

区 分	小学校の部	中学校の部
栃 木 県 知 事 賞	宇都宮市立今泉小学校	宇都宮市立清原中学校
栃 木 県 議 会 議 長 賞	下野市立国分寺小学校	宇都宮市立陽東中学校
	宇都宮市立岡本北小学校	宇都宮市立姿川中学校
栃 木 県 教 育 長 賞	栃木市立静和小学校	那須町立那須中学校
	矢板市立西小学校	足利市立毛野中学校
	下野市立緑小学校	日光市立東原中学校
栃 木 県 医 師 会 長 賞	宇都宮市立豊郷中央小学校	大田原市立金田南中学校
	栃木市立南小学校	日光市立小林中学校
	宇都宮市立清原南小学校	佐野市立田沼西中学校
栃 木 県 歯 科 医 師 会 長 賞	上記 9校	上記 9校

④ よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール

歯と口の健康週間事業の一環として、小中学校の児童から歯科保健に関する図画・ポスター、作文、標語を募集し、優れた作品を表彰しました。

区 分		特選	入選
図画ポスター	小学校	2点	20点
	中学校	1点	10点
作 文	小学校	2点	16点
	中学校	1点	7点
標 語	小学校	2点	20点
	中学校	1点	8点

(3) とちぎ歯の健康センター事業

とちぎ歯の健康センターは、県の歯科保健対策の推進拠点として、平成6(1994)年2月に開館しました。センター1階には障害者歯科診療所、2階には図書資料室やとちぎ在宅歯科医療連携室、3階には研修室があります。(管理運営は栃木県歯科医師会に委託)

① 健康相談

とちぎ歯の健康センターにおいて、電話及び来所による歯科保健に関する相談を実施しました。

・受付時間：午前9時～午後4時30分

相談件数及び相談内容別内訳

内容	治療内容について						予防指導	障害者等の歯科相談	その他	合計
	むし歯	歯周疾患	抜歯	補綴	矯正	その他				
件数	7件	8件	3件	41件	5件	29件	4件	1件	23件	121件

(参考) 平成28年度相談件数：144件

② 普及啓発

とちぎ歯の健康センターの「展示コーナー」、「図書資料室」における各種資料の展示及び各種広報媒体を活用し、普及啓発活動を行いました。

ア 展示コーナー、図書資料室における資料貸出し状況

	図書	ビデオ・DVD	公衆衛生教材・展示物	生涯ライブラリー	合計
貸出数	26件 (79点)	24件 (84点)	67件 (276点)	9件 (31点)	126件

(参考) 平成28年度総貸出件数：139件

イ 機関紙等発行

とちぎ歯の健康センターだより 第24号

ウ 視察研修

診療所及び展示コーナーの見学、センター事業の説明、研修、体験学習等

③ フッ化物洗口実施に係る技術的支援

市町や小中学校におけるフッ化物洗口の実施にあたり歯科専門職による技術的支援を行いました。

従事歯科医師数	市町名	実施人員
133人	足利市、日光市、佐野市、大田原市、高根沢町、那須町、那珂川町	16,658人

④ 歯と口の健康週間事業

歯と口の健康週間に歯と口腔に関する正しい知識の普及を図るため、県内11ヶ所において講演会・保健指導を実施しました。

実施回数	対象者	参加者数
11回	一般県民	5,694人

2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及

県民自らが歯や口腔の健康づくりの重要性を理解し、実践的に取り組むため、学習や歯科検診の機会を提供しました。

(1) ヘき地歯科巡回診療

無歯科医地区を有する市町の中で、要請のあった地域の住民に対して、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による歯科診療を実施しました。

No.	市町名	実施場所	実施回数	延人数
1	日光市	栗山小学校	6回	19人
2	那珂川町	馬頭東小学校	9回	67人
3	那珂川町	馬頭西小学校	9回	31人
合 計			24回	117人

(参考) 平成 28 年度実施状況： 24 回、延 121 人

(2) 永久歯等対策事業

県内の保育所・幼稚園・認定こども園、障害児通所施設、盲・聾・特別支援学校の幼児と保護者等を対象に、歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」の説明や歯科保健指導を行いました。

種 別	実施回数	対象者数
保育所・幼稚園	87回	3,455人
障害児通所施設	13回	205人
盲・聾・特別支援学校	10回	250人
合 計	110回	3,910人

(参考) 平成 28 年度実施状況： 106 回、3,626 人

3 障害者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保

歯科検診等を受けることが難しい状況にある障害者や要介護高齢者等に対して、歯科保健医療サービスを確保するための事業を実施しました。

(1) とちぎ歯の健康センター診療所

1階の診療所において、障害者を対象に歯科診療を実施しました。

ア 診療体制

- ・診療日 月曜日～金曜日（予約制）
- ・診療時間 午前：9時～12時、午後：1時30分～5時
- ・スタッフ

午前：歯科医師 1人（常勤）

歯科衛生士 6人（常勤）

午後：歯科医師 3人（常勤1人、輪番制診療実行委員2人）

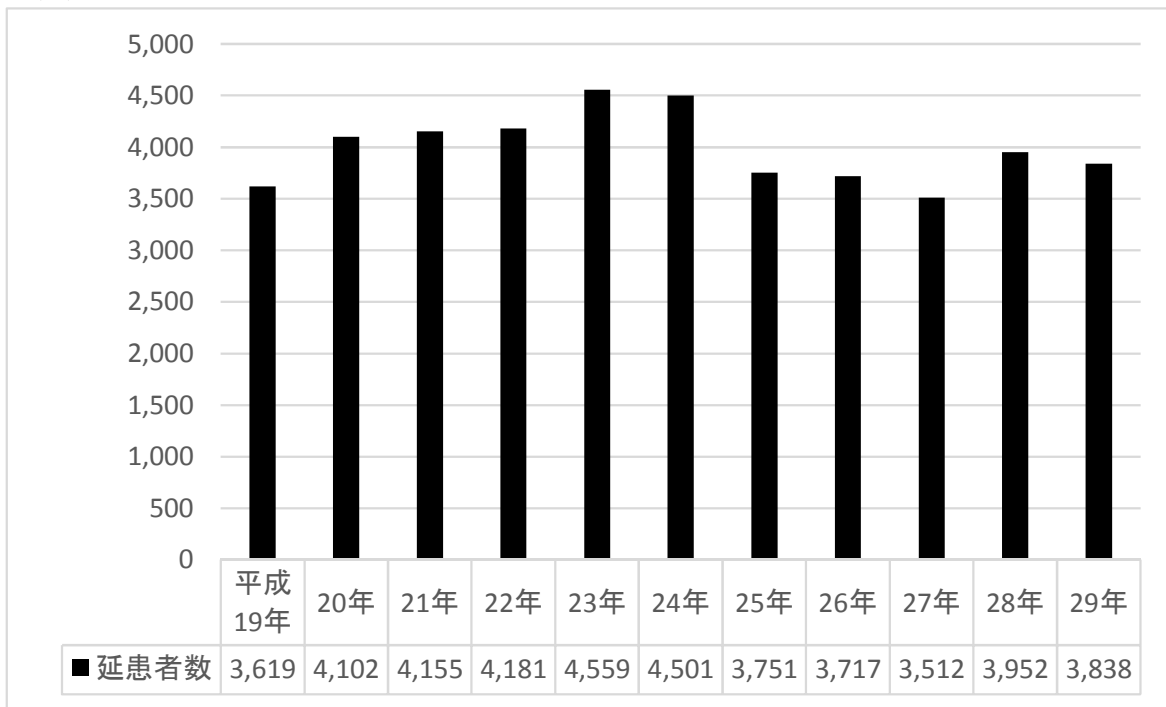
歯科衛生士 7人（常勤6人、他1人）

イ 月別の延患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診療日数	20	20	22	19	18	20	20	20	19	18	19	21	236
延患者数	336	323	348	331	305	343	314	331	306	281	297	323	3838

ウ 診療実績（延患者数）の年次推移

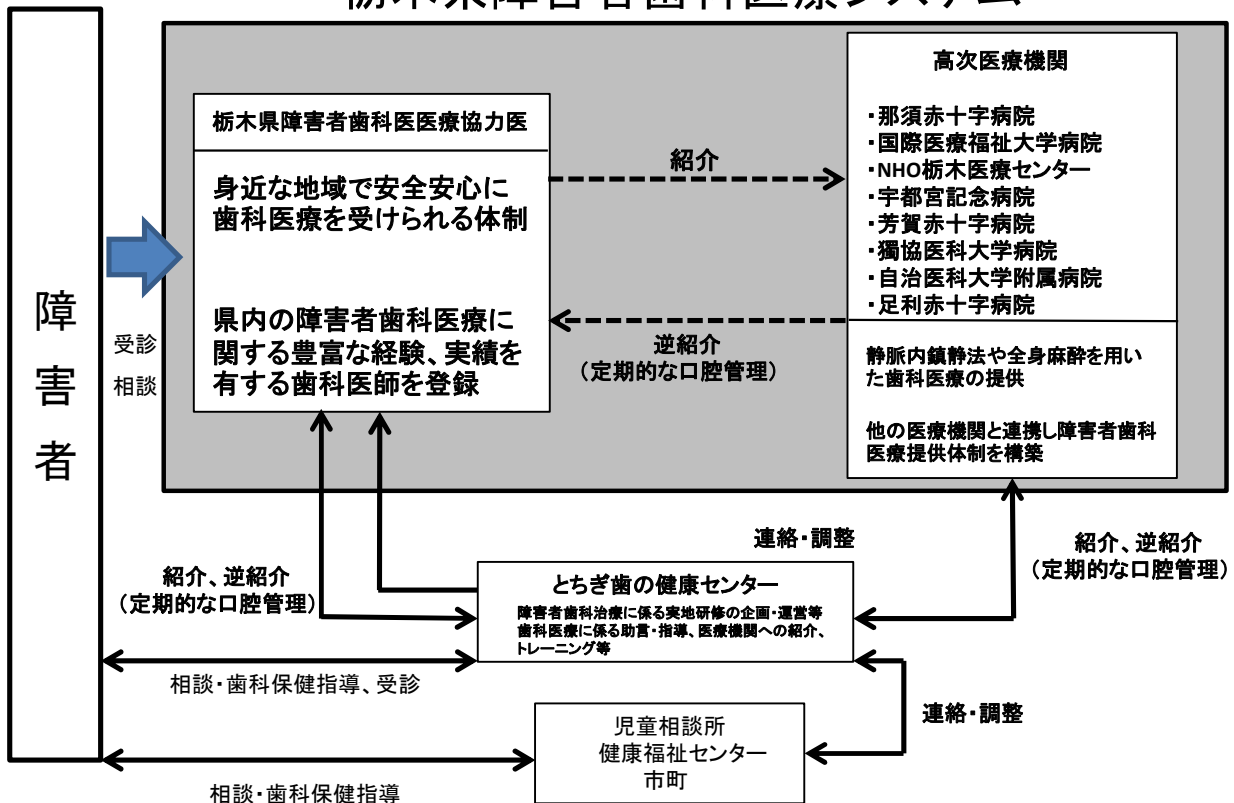
(人)



(2) 栃木県障害者歯科医療システムの運用

障害者が住み慣れた身近な地域の中で歯科医療を受けられるようにするため、新たに「栃木県障害者歯科医療システム」を構築しました。

栃木県障害者歯科医療システム



① 栃木県障害者歯科医療協力医の登録

障害者が住み慣れた身近な地域で適切な歯科医療を受けることができるよう、障害者歯科医療に取り組む県内の歯科医師を「障害者歯科医療協力医」として登録しています。

栃木県障害者歯科医療協力医の登録及び医療の提供状況〔平成30(2018)年4月1日現在〕

2次保健医療圏	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	合計
協力医の登録状況	20人	27人	24人	8人	41人	26人	146人
障害者の受診状況	150人	352人	227人	46人	489人	487人	1,751人

② 栃木県障害者高次歯科医療機関の指定

・高次歯科医療機関の指定状況〔平成30(2018)年4月1日現在〕

那須赤十字病院、国際医療福祉大学病院、NHO 栃木医療センター、宇都宮記念病院、芳賀赤十字病院、獨協医科大学病院、自治医科大学附属病院、足利赤十字病院

・治療実績

外来新患数	静脈内鎮静法	全身麻酔下	紹介患者受入数	逆紹介患者数
1,210人	643人	492人	306人	281人

③ 障害者高次歯科医療機関による研修会の開催

障害者高次歯科医療機関において、障害者歯科医療に関する知識の普及と連携促進のため、障害者歯科医療協力医を対象に研修会を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加人数
8月17日(木)	障がい者歯科における 静脈内鎮静法 -deep sedation-	鶴見大学歯学部歯科麻酔学講座 河原 博 氏 矢口 絵莉香 氏	獨協医科大学病院	歯科医師、歯科衛生士、 医師、看護師 計 37名
2月24日(日)	歯科医療従事者のための 障害者歯科研修会	・昭和大学歯学部スペシャルニーズ 口腔医学講座口腔衛生学部門 弘中 祥司 氏 ・とちぎ歯の健康センター 神谷 清 氏	栃木県歯科医師会館	歯科医師、歯科衛生士 助手、事務 計 55名
3月4日(日)	障害者歯科研修会	宇都宮記念病院 佐々木 忠昭 氏 救急部スタッフ	宇都宮記念病院	歯科医師、歯科衛生士 助手、事務 計 31名

(参考) 平成28年度実施状況：2回、96人

④ 障害者高次歯科医療機関に対する診療機器等整備への助成

障害者への歯科医療を提供する際に必要となる診療機器等の購入費に対して助成しました。

〔助成先〕 国際医療福祉大学病院、宇都宮記念病院、芳賀赤十字病院、獨協医科大学病院、自治医科大学附属病院

⑤ 障害者高次歯科医療提供体制整備事業

障害者へ静脈内鎮静法や全身麻酔法などを用いた歯科医療を提供するため、NHO 宇都宮病院の運営費に対して助成しました。〔平成29年度実績〕 患者数：48人、全身麻酔件数：26件

(3) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業

要請のあった障害者又は高齢者の入所施設を訪問し、歯科健診・相談・指導等を実施しました。

種 別	実施回数	対象者数
障害者支援施設・福祉型障害児入所施設	10 回	271 人
特別養護老人ホーム	31 回	783 人
合 計	41 回	1,054 人

(参考) 平成 28 年度実施状況： 38 回、999 人

(4) 在宅歯科医療推進事業

在宅歯科医療を推進するための各種事業を実施しました。

① 在宅歯科医療連携室

在宅歯科医療に関する相談や診療所の紹介、ポータブル歯科医療機器の貸出などを行う「在宅歯科医療連携室」の運営費に対して助成を行いました。

区 分	相談対応	機器貸出
件 数	81 件	76 件

(参考) 平成 28 年度実施状況： 相談対応 55 件、機器貸出 64 件

② 在宅歯科医療従事者研修

実施日	内 容	講師	会 場	参加人数
2月4(日)	要介護者への歯科の支援 ～訪問歯科衛生士の立場から	口腔栄養サポートチーム レインボー代表 篠原弓月 氏	栃木県歯科 医師会館	63 人
3月4日(日)	地域包括ケア時代の在宅医 療～歯科医師・歯科衛生士 への期待	医療法人アスムス 理事長 太田 秀樹 氏		68 人

(参考) 平成 28 年度実施状況： 2 回、145 人

(5) 多職種連携栄養指導・口腔機能向上事業

歯と口腔機能の衰え（オーラルフレイル）の予防や栄養指導・口腔機能向上について、多職種連携による取組を促進するため、研修会を開催しました。

実施日	内 容	講師	会場	参加人数	備考
12 月 17 日 (日)	(1) 講演 ①地域連携における栄養療法と摂食 嚥下 ②成人の摂食嚥下リハビリテーション ③摂食嚥下障害と口腔・栄養管理の 基本	①群馬大学教育学部 教授 吉野 浩之 氏 ②足利赤十字病院 リハビリテーション科 尾崎 研一郎 氏	栃木県 歯科医 師会館	123 人	【実習協賛企業】 ・オリンパス ・サンメディックス ・イーエヌ大塚製薬 ・大塚製薬工場 ・クリニコ ・雪印ビーンスターク
1 月 21 日 (日)	④嚥下障害の歯科補綴的アプローチ (2) 実習 ・ソフト食等の試食 ・嚥下内視鏡	③那須赤十字病院 歯科口腔外科部長 伊藤 弘人 氏 ④自治医科大学 歯科口腔外科学講座 山川 道代 氏		88 人	

(参考) 平成 28 年度実施状況： 2 回、121 人

4 歯科保健医療提供体制の整備

県民の生涯にわたる健康の保持増進を図るため、保健、医療、福祉、教育等関係者の資質向上や連携強化に取り組みました。

(1) 歯科衛生士再就職支援事業

出産・子育て等を理由に離職した歯科衛生士の再就職を支援するため、研修を行いました。

実施日	内 容	講 師	会 場	参加人数
12月10日(日)	最新の消毒法と全身疾患	日光歯科医師会 船越 達海	とちぎ歯の健康センター	14人
1月21日(日) 午前	日常の臨床において知っておくべき口腔解剖 歯牙解剖・生理～偶発症とその予防について～	宇都宮市歯科医師会 福田 祥		9人
1月21日(日) 午後	卓上でのスケーラー操作	栃木県歯科衛生士会 赤羽 仁美、鈴木 美弥子		5人
2月4日(日)	口腔ケアとは～基礎編～	栃木県歯科衛生士会 上岡 知恵、塩谷 裕子、 柏瀬 典子、品田 ゆかり、 石渡 しのぶ		17人
3月11日(日)	口腔ケアとは～実践編～	栃木県歯科衛生士会 上岡 知恵、塩谷 裕子、 柏瀬 典子		20人

(参考) 平成28年度実施状況： 4回、88人

(2) 歯科保健指導者・歯科医療従事者研修会

歯科保健指導者、歯科医療従事者を対象に教育・研修を実施しました。

実施日	内容・講師	対象者	参加人数
6月25日(日)	「発達期障害児者の摂食嚥下リハビリテーション ～摂食機能の発達と障害児者への対応」 日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座 教授 野本 たかと 氏	歯科医師 歯科衛生士	76人
1月28日(日)	(1)講演 「障害者に対する連携歯科医療～地域の2次医療機関を核として」 昭和大学 名誉教授 向井 美恵 氏 「障害者歯科診療のススメ」 日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座教授 野本 たかと 氏 (2)ディスカッション 「地域包括ケアシステムにおける障害者歯科医療 ～とちぎ歯の健康センターの役割を考える～」 ・日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座教授 野本 たかと 氏 ・とちぎ歯の健康センター 専任歯科医師 神谷 清 氏 ・栃木県歯科医師会 常務理事 箱島 光一氏 ・コーディネーター 昭和大学 名誉教授 向井 美恵氏	歯科医師 歯科衛生士	52人

(参考) 平成28年度実施状況： 1回、54人

(3) 医科歯科連携推進事業

歯と口腔の病気は、生活習慣病の発症や進行などと深く関わっていることから、医師と歯科医師が連携（以下「医科歯科連携」という。）して患者の治療に取り組むことが求められています。

① 糖尿病診療における医科歯科連携の推進

糖尿病の人が歯周病の治療をすると血糖値が改善することがあるため、「糖尿病治療連携マニュアル」（平成 28 年 3 月作成）に基づき、糖尿病の初期・安定期治療を担う医療機関と歯科診療所との間における患者紹介や治療に関する情報共有を推進しています。

年 度	H27	H28
糖尿病診療における 医療機関と歯科診療 所との連携状況	20.0%	20.9%

② がん患者の治療に関わる医科歯科連携の推進

がん治療に伴い、口腔内には様々な合併症が出現することがあり、その合併症の予防と治療（以下「周術期口腔機能管理」という。）には、医科歯科連携が重要です。栃木県立がんセンターでは、がん患者に対する周術期の口腔機能管理が円滑に行われるよう、地域の歯科診療所を対象に研修を行っています。

③ 地域医療支援病院における医科歯科連携・病診連携の推進

地域医療支援病院における医科歯科連携・病診連携を支援するため、済生会宇都宮病院において歯科を開設するための診療ユニットやレントゲン撮影装置等の整備費に対して助成しました。

〔実績〕 周術期口腔機能管理の件数： 792 件（開設 12 月～3 月）

(4) とちぎ歯の健康センター整備事業

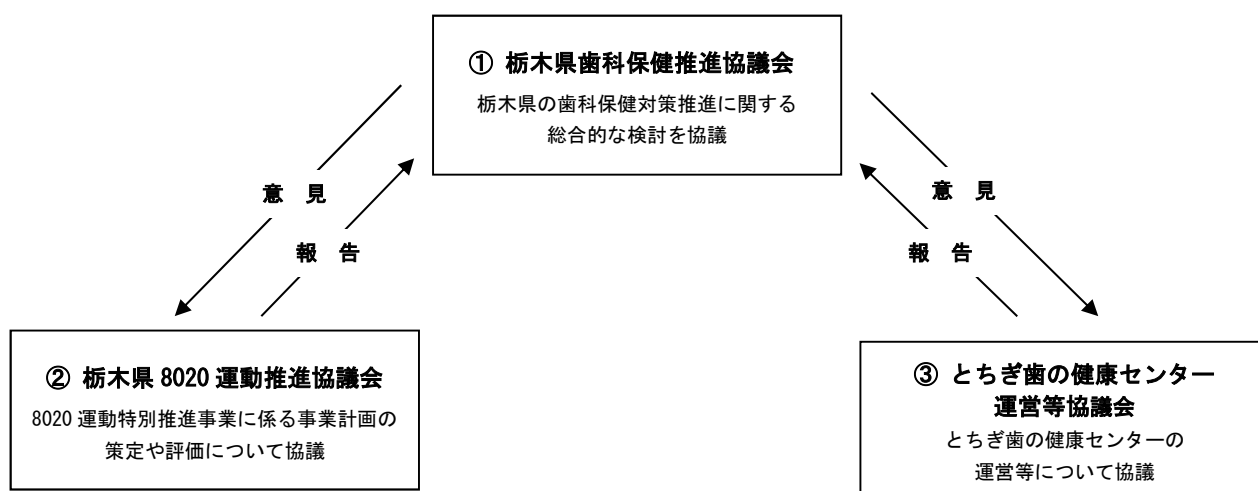
レントゲン撮影装置など老朽化した診療機器を更新することにより、障害者に対する歯科医療の提供体制の強化・充実を図りました。

(5) 歯科保健推進協力交付金

（一社）栃木県歯科医師会が行う歯科保健対策推進事業に対し支援を行いました。

(6) 歯科保健対策関連協議会

歯科保健対策事業の充実を図るため、3つの協議会を設置しています。



① 栃木県歯科保健推進協議会

様々な分野の専門家を協議会委員に委嘱し、総合的な歯科保健対策事業について協議しました。

なお、平成29年度については、「栃木県歯科保健基本計画（2期計画）」の作成のため、3回開催して意見を伺いました。

- ・日 時：平成29年8月2日、12月14日、平成30年2月8日
- ・場 所：県庁舎会議室
- ・議 題：栃木県歯科保健基本計画（2期計画）の策定について 他

栃木県歯科保健推進協議会委員〔任期：H28.8.22～H30.8.21（2年間）〕

氏名	所属・役職等
1 宮下 均	栃木県歯科医師会 会長
2 佐川 徹三	栃木県歯科医師会 副会長
3 川津 博亨	栃木県歯科医師会 副会長
4 前原 操	栃木県医師会 副会長
5 長谷 規子	栃木県歯科衛生士会 副会長
6 土屋 秋男	栃木県歯科技工士会 会長
7 川田 亨	栃木県老人福祉施設協議会 理事（特別養護老人ホームかがやき施設長）
8 飯島 芳子	栃木県保育協議会 理事（宇都宮市立竹林保育園長）
9 古内 豊	市町村代表（茂木町保健福祉課長）
10 田中 圭子	栃木県市町村保健師業務研究会 副会長（高根沢町健康福祉課）
11 篠原 順子	中核市（宇都宮市健康増進課長）
12 古川 弘	栃木産業保健総合支援センター 副所長
13 糸 まり子	栃木県栄養士会 会長
14 鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
15 青山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

② 栃木県8020運動推進協議会

歯科保健医療対策事業「8020運動推進特別事業」（国庫補助事業）の実施状況及び次年度計画について協議しました。

- ・日 時：平成30年3月8日（木）午後2時30分～3時30分
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター 3階研修室（宇都宮市一の沢2-2-5）
- ・議 題
 - (1) 平成29年度8020運動推進特別事業の実施状況について
 - (2) 平成30年度8020運動推進特別事業の実施計画案について

栃木県8020運動推進協議会委員任期〔H29.3.1～H30.2.28（1年間）〕

氏名	所属・役職等
1 大野 克夫	栃木県歯科医師会 専務理事
2 植原 雅章	栃木県歯科医師会 常務理事
3 印南 秀之	栃木県歯科医師会 理事
4 林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5 鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
6 野原 正祥	栃木県教育委員会事務局 健康福利課長
7 青山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

③ とちぎ歯の健康センター運営等協議会

とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回歯科相談・指導、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に関する事業の実施内容の充実について協議しました。

- ・日 時：平成30年3月8日（木）午後3時30分～4時30分
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター 3階研修室（宇都宮市一の沢2-2-5）
- ・議 題
 - (1) 平成28年度及び29年度の事業実施状況について
 - (2) 平成30年度事業実施計画案について

とちぎ歯の健康センター運営等協議会委員〔任期：H29.3.1～H31.2.28（2年間）〕

	氏 名	所属・役職等
1	大野 克夫	栃木県歯科医師会 専務理事
2	箱島 光一	栃木県歯科医師会 常務理事
3	長島 啓智	栃木県歯科医師会 理事
4	林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5	小幡 玲子	栃木県手をつなぐ育成会 理事
6	峯山 敏正	栃木県障害者施設・事業協会 副会長

V 平成30(2018)年度に講じる施策

計画の項目	事業項目	事業概要	ライフステージ等					予算額 (単位:千円)	
			乳 幼 児	学 小 高 校 生	成 学 中 人	高 齢 者	介 障 害 者 ・ 要 者		
1 歯 や 口 腔 と 関 係 す る 病 気 等 の 予 防 の 推 進	(1) 栃木県口腔保健支援センターの運営	市町や関係機関と連携しながら、歯科保健対策の企画立案や助言指導などを行う。	○	○	○	○	○	2,434	
	(2) 歯と口腔の病気を予防する取組の促進								
	① 永久歯等対策事業	保育所・幼稚園・障害児通所施設等に歯科衛生士を派遣して、児童や保護者等に歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発を行う。	○		○				2,569
	② よい歯のコンクール(三歳児、親子、学校、作品)	歯と口腔の衛生状態が良好な人やその優れた取組を表彰する。	○	○	○				316
	③ 普及啓発事業	リーフレット等の作成・配布により普及啓発を行う。	○	○	○	○	○		127
	④ 歯と口の健康週間事業	歯と口の健康週間に合わせて、各地域で歯科専門職と連携した講演会や保健指導を行う。	○	○	○	○	○		972
	(3) 小学校におけるフッ化物洗口の推進								
	① 歯科疾患予防推進事業	小学校でフッ化物洗口を行う市町に対して助成する。		○					1,900
	② フッ化物洗口普及事業	市町によるフッ化物洗口の実施にあたり、歯科専門職の派遣による技術的支援を行う。		○					801
	(4) 歯と口腔機能の衰え(オーラルフレイル)の予防								
	① 多職種連携による栄養指導・口腔機能向上事業	栄養指導や口腔機能の向上について、多職種連携による取組を促進するため、研修会を開催する。					○	○	1,934
	② 普及啓発事業	(再掲)	○	○	○	○	○		—
	(5) 全国歯科保健大会の開催	全国歯科保健大会を開催し、県民の歯と口の健康づくりへの意識の高揚を図る。また、前日には、行政職員向けの研修を行う。	○	○	○	○	○		3,166
	(6) とちぎ歯の健康センターを拠点とした歯科保健活動の推進	展示パネルや視聴覚資料の充実を図るとともに、啓発のための貸出しなどを行う。	○	○	○	○	○		767
2 す る 啓 発 と 検 診 の 健 康 に 関 する	(1) 永久歯等対策事業	(再掲)	○		○			—	
	(2) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業	(再掲)					○	—	

計画の項目	事業名	事業概要	ライフステージ等					予算額 (単位:千円)
			乳 幼 児	学 小 学 高 校 生	成 人	高 齢 者	介 護 者 ・ 障 害 者 要	
医 3 療 サ ー 害 者 ・ 要 介 護 者 へ の 歯 科 保 健	(1) とちぎ歯の健康センター障害者歯科診療・相談事業	障害の特性などから歯科治療が困難な障害者の歯科治療を行う。また、家族や施設職員等からの歯科保健医療に関する相談に対応する。					○	21,844
	(2) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業	障害者及び高齢者施設における入所者の誤嚥性肺炎の予防や口腔機能の維持・改善のため、施設訪問による歯科検診及び口腔ケア指導を行う。					○	2,544
	(3) 障害者歯科医療に関する研修事業	高次歯科医療機関において、地域の歯科医を対象に研修会開催する。					○	640
	(4) 障害者高次歯科医療提供体制整備事業	高次歯科医療機関の医療提供体制の確保に係る経費を助成する。					○	1,318
整 4 備 歯 科 保 健 医 療 提 供 体 制 の	(1) 歯科保健従事者研修会	歯科保健指導者や歯科医療従事者を対象に、資質向上のための研修を行う。	○	○	○	○	○	60
	(2) 在宅歯科医療従事者研修	在宅歯科医療の推進のため、歯科医療従事者を対象に研修を行う。	○	○	○	○	○	684
	(3) 在宅歯科医療連携室整備事業	県歯科医師会が開設する連携室の運営に対して助成する。	○	○	○	○	○	1,623
	(4) 歯科衛生士の再就職等支援事業	歯科衛生士の再就職やスキルアップを支援するため、県歯科医師会の行う事業に対して助成する。	○	○	○	○	○	749
	(5) 歯科保健推進協力事業	県歯科医師会に対して交付金を支給することにより、各地域で歯科保健対策推進事業を展開する。	○	○	○	○	○	7,200

VI 資料：県内市町におけるライフステージごとの取組（平成29年度）

事業 市町名	妊産婦	0～1歳 児	1歳 6か月児	2歳児	3歳児	3歳児～ 未就学 児	フッ化 物応用	学 童 徒	成 人	歯周病 検診	高齢者 (65歳以 上)	全ライフ ステージ*1	計画*2
宇 都 宮 市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鹿 沼 市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日 光 市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
真 岡 市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
益 子 町	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
茂 木 町		○	○	○	○	○	○		○	○			○
市 貝 町		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
芳 賀 町			○	○	○	○	○	○		○	○		○
栃 木 市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小 山 市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下 野 市	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
上 三 川 町	○		○	○	○	○	○	○		○			○
壬 生 町			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
野 木 町			○	○	○		○	○		○	○	○	○
大 田 原 市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
矢 板 市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那 須 塩 原 市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さ くら 市		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
那 須 烏 山 市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
塩 谷 町		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
高 根 沢 町		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那 須 町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
那 珂 川 町		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
足 利 市		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐 野 市	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
合計	13	20	25	23	25	24	25	21	18	25	23	17	25

*1 全住民を対象としたイベント事業

*2 健康増進計画内に歯科が位置付けられている計画

Ⅶ 資料：県内市町における歯科保健条例制定及び計画策定状況について

市町名		条 例				計 画	
		検討中	制定済	公布日 施行日	条例名	健康増進 計画に歯 科記載有	歯科単独 計画
県 西	宇都宮市		○	H29.9.29 H29.11.8	宇都宮市歯と口腔の健康づくり推進条例	○	○
	鹿沼市		○	H25.3.21 H25.4.1	鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例	○	○
	日光市		○	H23.7.3	日光市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
県 東	真岡市					○	
	益子町		○	H27.3.18 H27.4.1	益子町民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	茂木町		○	H27.3.13 H27.4.1	茂木町歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	市貝町		○	H27.3.10 H27.4.1	市貝町民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	芳賀町		○	H27.3.8 H27.4.1	芳賀町民歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
県 南	栃木市		○	H26.3.20 H26.4.1	栃木市歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	小山市		○	H25.3.22 H25.4.1	小山市歯と口腔の健康づくり推進条例	○	○
	下野市		○	H26.3.20 H26.4.1	下野市歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	H29年度で終了し、健康増進計画内に記載
	上三川町	○		H30年度予定	上三川町歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	壬生町		○	H26.3.12 H26.4.1	壬生町歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
	野木町		○	H29.12.22 H30.4.1	野木町歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
県 北	大田原市					○	
	矢板市					○	
	那須塩原市					○	
	さくら市	○		H30年度 3月末予定	さくら市民の歯と口腔の健康づくり推進条例	○	
	那須烏山市		○	H25.3.19 H25.4.1	那須烏山市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	塩谷町	○		H30年度内	9月議会にて上程予定 塩谷町民の歯と口腔の健康づくり推進条例	○	
	高根沢町					○	
	那須町					○	
	那珂川町					○	
安 足	足利市		○	H25.12.25 H26.4.1	足利市民の歯及び口腔の健康づくりに関する条例	○	
	佐野市		○	H25.3.18 H25.4.1	佐野市歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
		3	15			25	5
県	栃木県		○	H22.12.21 H23.4.1	栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
国	厚生労働省		○	H23.8.10	歯科口腔保健の推進に関する法律	○	○

■ 歯科保健条例を策定している道府県・・・43道府県 [平成30(2018)年6月現在]